



平成 29 年 9 月 1 日

各 位

会 社 名 中央ビルト工業株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 西本 安秀
(コード：1971、東証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長 石井 裕
(TEL. 03-3661-9631)

不適切な会計処理の判明について

この度、当社名古屋工場において、過年度決算の訂正の対象となり得る不適切な会計処理が行われていたことが判明いたしました。

このような事態が発生いたしましたことは誠に遺憾であり、株主・投資家の皆様をはじめ、市場関係者及び取引先の皆様に、多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしますことを、心よりお詫び申し上げます。

現在、当社は、真相解明に向け、不適切な会計処理の概要、過年度の損益等に対する影響額等につきまして、鋭意調査中ではございますが、取り急ぎ現時点で判明している事項につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現在判明している内容について

当社の名古屋工場において棚卸資産が過大に計上されている疑いが発見され、平成 29 年 8 月中旬より確認作業を行ってまいりました。

その結果、現時点の調査では、過年度より棚卸資産が合計で約 3 億 2 千万円過大に計上されていたことが判明いたしました。なお、当該金額は現時点での調査結果に基づくものであり、今後変わる可能性もございます。

2. 今後の対応について

当社では本件発覚以降、調査を進めてまいりましたが、より詳細な事実関係を把握するため、当社と利害関係を有しない外部専門家に調査協力を依頼のうえ、調査委員会を設置する予定であり、決定次第改めてお知らせいたします。

なお、調査結果及び業績への影響等につきましては、事実関係が判明次第、速やかに開示いたします。

以 上